

実績報告書

集客数

346名

演奏会名

第49回定期演奏会

主催者名

酒田吹奏楽団

開催日	令和4年5月16日(日)	開場	13:15	開演	14:00	場所	希望ホール
主題	いつも心に、音楽を。～音楽でつながる絆と希望～						

	広報印刷物		指揮	
			常任指揮者 武田 晃	
			協賛	
			特別協力：新庄吹奏楽団	
		参加事業	料金	
		酒田吹奏楽団 創立五十周年記念事業	一般	1,000円
			学生	500円
			託児	無し
			(小学生入場無料)	

会場の様子	内容の詳細
	<p>創立50周年記念事業の一環として開催した演奏会。庄内のみならず県内全域において新型コロナウイルスの感染が拡大している中での開催となったが、昨年度の秋季演奏会の経験を活かして感染対策を実施しながら開催した。具体的には座席数の半数制限(使用禁止の貼紙は楽団で用意)、消毒液の追加配備(楽団側)、来場時のチケット、パンフレット持参協力等を実施した。加えて、奏者と来場者との接点を少なくするため、継続して実施してきたお出迎え・お見送りは行わず、コンパクトな演奏会を目指した。</p> <p>また、感染拡大期において高齢者以外のワクチン接種が進まない中での開催判断は非常に難しい面があったものの、綿密な計画を立てて出来る限りの対策を講じた上で開催することを決定した。広報活動の自粛によって座席制限を下回る来場者数となったものの、演奏会内容には好評をいただくことが出来た。</p>
	<p>演奏会事業では来場者の満足度指標として集客数やアンケートを重視してきたが、制限下の演奏会では別の視点から評価する必要がある。集客数は約350人と多くはない数字だが、「いつも心に音楽を」というテーマは来場者の心に響いたことを評価したい。娯楽の少ない地方都市、かつ制限や自粛等の抑制下にある生活において音楽が癒しとなることを実証出来たとともに、奏者としても改めて気付かされた機会になった。</p> <p>また、県内楽団はコロナ禍において奏者減少が著しく、大中規模曲の演奏が難しい状況にある。そこで、新たに実験的な取り組みとして、他団体と相互協力による奏者の補完を行った。層の厚みより演奏の幅や質が向上が見られ、魅力あるプログラムを組むことが出来るようになったことは成果と捉えられるが、地域により良い音楽を提供出来るよう今後も同体制の構築を図りたい。</p>

演奏会に寄せられた声 (一部のご紹介)

女/社会人	コロナ禍で出かけられない中、心の栄養を頂きました。どんな時も生演奏の音楽は欠かせません。
男/社会人	大変心に響く演奏でした。日頃味わえない生演奏に音楽の素晴らしさを満喫しました。本当にありがとう。
男/社会人	2年振りに演奏会に参りました。団員の力強い演奏に心が和みましたが、コロナに負けず頑張ってください。
女/社会人	コロナの中で団員の皆様自身がならないようにしながら練習なさり、このように素晴らしいコンサートを開かれて、並々ならぬ努力の賜物と思われます。コンサートに来て感無量でした。